

いつも市民の目線で!!

“山さんのホームページ”

www.k-yamasan.com

寝屋川市議会議員

山崎 きくお



平成22年7月号 (第85号)

北河内夜間救急センター

11月、枚方市へ移転

六月一五日〜七月二日の日程で、六月定例市議会が開催されました。

今回、市長から提案された主な案件は、

- ① 先決処分の報告 (3件)
- ② 情報公開・個人情報保護審査会条例の制定
- ③ 情報公開条例及び個人情報保護条例の一部改正
- ④ 北河内夜間救急センター設置条例の廃止
- ⑤ 北河内夜間救急センター協議会規約の変更に関する協議
- ⑥ 市立地域交流センター条例の制定
- ⑦ 平成二二年度一般会計補正予算 (第2号)
- ⑧ 工事請負契約の締結 (1件)
- ⑨ 教育委員会委員の任命 (村田 茂氏)
- ⑩ 人権擁護委員候補者の推

薦(北田睦子氏 ほか7名)など、計二二件でした。

すべて原案どおり可決

市長から提案があった議案のうち、④⑤北河内夜間救急センターの移転に関する議案と、⑥市立地域交流センター条例の制定については、一部の会派から反対の意見がありました。しかし、最終日の本会議で「討論」と「採決」を行った結果、すべて原案どおり可決されました。

第43回 山さんのミニ市政報告会

- 日時 7月24日(土) 午後7時30分〜
- 場所 池田南町公民館
- ◎ どなたでも、お気軽にご参加下さい。

山さんのプロフィール



姓 名 山崎 菊雄 (やまさき きくお)
 昭和24年5月 富山県氷見市に生れる
 昭和48年3月 関西大学法学部卒業
 元・守口市役所職員
 元・若葉町自治会長
 元・池田校区福祉委員長
 元・二中地区社明委員長
 平成15年4月 寝屋川市議会議員に初当選 (現在2期目)
 現 在 建設水道常任委員会委員長
 議会だより編集委員会委員
 交通安全都市推進委員会委員
 交通問題対策協議会委員

なぜ北河内夜間救急センターを移転するのか

これまで、市役所北側の北河内夜間救急センターは、三〇年前(昭和五五年)から北河内7市(守口市・枚方市・寝屋川市・大東市・門真市・四条畷市・交野市)で運営を行ってきました。そして、地理的条件から毎年利用者の半数以上が寝屋川市民(平成二〇年度は四、二八〇人中二、二三〇人)で、特に子どもの夜間緊急時の受診機関として多くの市民から支持されてきました。しかし、最近の医師不足等により関西医科大学からの医師の派遣が困難となつたため、本年十一月一日からやむを得ず枚方市立保健センター内(枚方市民病院の隣)へ移設することになったものです。

【診療時間の延長】
 ▽受付時間を、これまでの午後八時三〇分〜午前〇時三〇分を、翌朝六時まで延長。

寝屋川市議会議員 山崎 きくお 事務所

〒572-0031 寝屋川市若葉町34番10号

TEL. 072-829-1900 E-mail. genkina@k-yamasan.com

大きな声で、元気なあいさつ!!
山さんのあいさつ運動

山さんの一般質問 ①

六月定例会市議会では、二二日〜二四日に「一般質問」が行われ、一五人の議員が市政全般にわたって市長や市理事者の考えを質しました。

私は二三日の午後から一般質問に立ち、次のような主旨の質問を行いました。

一、市民サービスについて

【山さんの質問】

昔から「市役所は最大のサービス業である」と言われる。お客である市民の皆さんに満足していただくには「真心」と「接遇マナーの向上」が大切である。

市民サービスの観点から現在どのような取り組みを行っているか。

【理事者の答弁】

現在、ブランド戦略基本方針に基づき、市民サービスの向上に加え、市役所のイメー



ジアップを図るため、職員のサービス意識醸成に向けた（仮称）寝屋川サービスマインドについて、現在、関係所管が連携して策定を進めているところ です。

二、安心して子どもを産み育てられる環境づくりについて

【山さんの質問】

いま若い両親が安心して子

どもを産み育てるには、まず仕事を辞めなくてもよい環境を作ることが大切である。

それには、誰でも希望すればすぐに受け入れてもらえる保育所の整備が重要である。

この点について、市はどのように考えているのか。

また、子育て支援についてはどのように考えているのか。

【理事者の答弁】

本年5月から香里園地域で保育所の待機児童が発生しています。

今後開発と保育ニーズの高まりから香里園方面を中心に待機児童が発生することが予想されることから、平成二四年度の開園に向けて、近々募集を行う予定です。

また、子育て支援については、これまで子育て支援センターや集いの広場の設置をはじめキメ細やかな支援を行っております。

今後とも、育児の孤立化を防ぐため、支援策の充実に努めてまいります。

山さんの「コラム」

「ほめ育て」のすすめ

昔から「ほめ育て」という言葉がある。子どもだけでなく大人でも「ほめてもらう」と嬉しいものだ。もっと頑張ろうと意欲が湧いてくる。

しかし、実は「ほめる」とは意外に難しいものである。①目を見て、②笑顔で、③タイミング良く、④本当のことを、⑤心から ほめなくてはならない。

生後2〜3週間で、赤ちゃんは「可愛いね」「あなたが生まれて本当に嬉しい」と言う母親の優しい目の輝きから自分が愛されていることを確かめて育つと言う。

また、「ほめる」ためには常に「きれいな心」と「余裕」がなくてはならない。タイムリ

ング良く相手の良い処に気付くことが大切だからである。いつも、相手の良い処を見つけて、タイミング良く「ほめる」だけの「きれいな心」と「余裕」を持ちたいものだ。